医療法人喬成会　花川病院　広報誌

つながる手と手

～はなかわからのメッセージ～

第 23 号

もくじ

●花川病院病棟転換のご案内
●「ふれあい広場いしかり」に参加
●喬成会「夏祭り」を開催
●新入職員のご紹介
●花川南睦美町内会「ふるさと夏祭り」太鼓演舞
●福祉用具のご紹介
●敬老の日に「感謝祭」を開催
●お薬の正しい使い方
●作業療法士による生活動作のご紹介

●令和元年 10 月 9 日発行　●発行人：憲克彦　●編集長：金子宏美　●企画・製作：花川病院地域連携相談センター

医療法人喬成会花川病院　〒061-3207　石狩市花川南 7 条 5 丁目 2 番地　代表電話（0133）73-5311
花川病院ホームページ　http://kyouseikai.jp/

花川病院病棟転換のご案内

当院は、昭和 54 年に開院し今年 40 周年を迎え、制度の改正とともに様々な機能変換をしながらより良い医療介護リハビリテーションを提供すべく、地域に根差した医療機関として取り組んで参りました。

平成 28 年 11 月より 2 病棟が医療療養病床・地域包括ケア病床として広く地域の患者様の受け入れをして参りました。この度 11 月より、地域の皆様からのリハビリテーションのニーズにお応えすべく 2 病棟 60 床を地域包括ケア病棟 30 床、回復期リハビリテーション病棟 30 床として転換運営する運びとなりました。今後求められます地域包括ケアシステム構築の中で、住み慣れた地域での生活が早期に可能となるよう更なる努力を重ねて参る所存でございます。

今後も地域の皆様に安心・信頼して利用いただけます医療施設を目指し、より一層地域医療に貢献して参ります。何卒、ご理解ご協力をお願い致します。

「ふれあい広場いしかり」に参加

7 月 13 日（土）石狩市総合保健福祉センターりんくるで開催された「第 31 回ふれあい広場いしかり」に参加しました。このイベントは、子供からお年寄り、障がいがある方まで、石狩市内に住むすべての人々がお祭りを通じて、相互理解・交流を楽しむためのイベントです。

今年も当院・法人内からボランティアを募り、地域連携相談センター、居宅ホットライン 21 から、4 名の職員がボランティアとして参加してきました。

当日は天候にも恵まれ、多くの来場者が訪れました。お祭りの開始と共に、焼き鳥、焼きそば、かき氷、クレープ、たこ焼き、ジュース、ビールが飛ぶように売れ、恒例のヒーローショーや菓子まき、伝承遊びやスタンプラリー、車いすや点字体験など、幅広い年齢層が楽しめる企画が盛り沢山で、来場者の皆さんの笑顔で溢れていました。

今回 4 回目の参加で、日ごろお世話になっている社会福祉協議会の職員の方々、地元の学生さん、町内会やボランティアの方など、顔見知りの方も増え、充実した楽しい時間を過ごすことができました。これからも様々な地域活動への参加を通じて、地域から信頼されるリハビリテーション病院・専門職集団を目指し、よりよい地域づくりに貢献していきたいと思います。

（地域連携相談センター　とみい）

喬成会「夏祭り」を開催

7月31日、喬成会「夏祭り」を開催しました。連日の真夏日による参加者の体調不良を懸念し、例年開催の屋外から変更、院内での開催となりました。

当院がオフィシャルスポンサーとして応援しているプロバスケットボールチーム「レバンガ北海道」のオープニングイベントは隣接する花川南コミュニティセンターにて開催し、会場にお越しいただいた多くのファンの方々や地域の小中学生の声援により大変盛り上がりました。

レバンガ北海道の選手と一緒に、石狩ミニバスケットボール少年団「紅南クラブ」の子供達と抽選で選ばれた一般参加の方がフリースロー対決を行い、子供達との交流の中で試合とは違うリラックスした選手達の表情が印象的でした。

院内では職員チームによる太鼓演奏や、レバンガ北海道の選手が飛び入り参加したよさこい演舞などで病棟内は活気に溢れ、今回限られたスペースでの開催ではありましたが地域の町内会・学生ボランティアの方々のご協力もあり、患者さんやご家族、地域の方々の笑顔溢れる一日となりました。

（地域連携相談センター　たにかわ）

新入職員のご紹介

はじめまして。7月より回復期リハビリテーション病棟の担当になりました森田隆介と申します。

前職では医療福祉の業界を離れ業務用のアプリケーションの開発を行っていましたが、以前は精神科病院でのソーシャルワーカーとして病棟及び外来にて入院相談・退院支援を含む相談対応。また障害者総合支援法の相談支援専門員として主に精神及び知的障害者の障害サービスのマネジメントをしていました。

医療機関での勤務はブランクが有り、また精神科以外の医療機関は初めての勤務ですが、早く相談調整や退院調整で皆様のお役に立

てるよう尽力したいと思います。また回復期リハビリテーション病棟での相談支援にて新たな経験ができることが楽しみであり、この業務に携われることをとても嬉しく思います。スポーツは得意ではありませんが、趣味は週に 1~2 度ジムに行くことです。また外食に出ることも好きで、今年はオータムフェストやミュンヘン市に行きたいと考えています。

まだまだ至らぬところもあるかとは思いますがよろしくお願いします。

花川南睦美町内会「ふるさと夏祭り」太鼓演舞

8 月 3 日、花川南睦美町内会の「ふるさと夏祭り」に職員太鼓演舞・売り場ボランティアスタッフとして参加しました。晴天のお祭り日和の中多くの来場者が会場につめかけ、ビール・焼鳥・焼きそば・かき氷と出店は大賑わいでした。

また今回は、会場中央に組んだ櫓（やぐら）の上で叩く盆踊り太鼓に町内の方・石狩ミニバスケットボール少年団「紅南クラブ」の子供達と一緒に協力参加しました。初めての太鼓に緊張していた子供達の表情も回数を重ねるごとに笑顔が溢れ、指導していた職員にとっても楽しい夏の思い出となりました。

花川南睦美町内会の皆さんは、毎年当院の夏祭りにも協力いただいており、日頃お世話になっている皆さんと共に活動でき楽しい一日となりました。今後も地域活動へ積極的に参加し、元気な街づくりに貢献していきたいと思います。

（地域連携相談センター　たにかわ）

福祉用具のご紹介

前回は「食事」をテーマに福祉用具のご紹介をさせていただきました。今回は「入浴」をテーマにご紹介をさせていただきます。「平成 30 年版 高齢社会白書（全体版）」によると、高齢者が「要介護」となる主な原因のうち、「骨折・転倒」は全体の 12.5%を占めています。浴室は水や石鹸で滑りやすく、特に注意が必要な場所の一つとなります。下に紹介する福祉用具は要支援・要介護認定を受けている方は、保険料に応じて 1～3 割の値段で購入が可能です。樹脂やアルミなどのサビが出ない素材を使用しているものが多数です。

立ち上がりが大変な方には、シャワーチェアがお勧めです。座面の高さは 30cm 程度～45cm 程度まで調整が

可能です。洗体・洗髪時に使用されると、床に座っている状態に比べて膝への負担軽減にも繋がります。

浴室への手すりの新たな設置が困難であり、浴槽への跨ぎ動作が大変な場合には、浴槽に脱着が可能なバスグリップがお勧めです。持ち手が U 字や O 型などのものがあります。

立位で浴槽を跨ぐことが困難な場合には、座って跨ぐ事が出来るバスボードがお勧めです。浴槽の奥行き・浴槽縁の幅に応じて調整が可能となっています。左図（上）のように設置し、左図（下）のように出入りを行います。不要な際にはとり外して頂くと、ご家族さまも入浴が行いやすくなります。

いずれも介護保険制度を利用して購入する場合は償還払いになりますので、担当のケアマネジャーの方とご相談の上、手続きして下さい。

（作業療法士　くどう）

敬老の日に「感謝祭」を開催

9 月 16 日(月・祝)敬老の日に「感謝祭」を開催いたしました。今年のテーマは「届けよう！笑顔の花が輝く瞬間（とき）を」をテーマに、職員一同で企画を行い、患者さんやご家族に楽しんでいただけるように準備をしてきました。

テーマをモチーフに病院内を花の飾りや風船で華やかに飾り、受付けでは来院いただいたご家族にお祝いの紅白餅をプレゼント。病院内に入ると、患者さんがリハビリ中に作成した作品を展示し日頃の成果を披露したり、ご家族から患者さんに送られた感謝の言葉や応援メッセージが書かれた葉をツリーに飾り付け展示。１階

ではありがとうカフェでコーヒーなどを飲みながらゆっくりと過ごしていただき、縁日をイメージし駄菓子、射的、輪投げ、スーパーボールすくい、綿あめなど患者さんが昔を思い出して楽しんでいただけるコーナーを設置。また、お薬相談、歯科相談コーナーも設置し、薬剤師・歯科衛生士によるお悩み解決。病棟では、併設している保育所「ちびっ子ハウス」の園児からフラワーリースをプレゼント。

皆様お待ちかねの昼食は例年洋食が多かったのですが、今年は和食で調理長が腕を揮って作った「海鮮花川弁当」を、花川病院職員で結成された「花ウタリ」が演奏する中でご堪能いただきました。

食後のイベントでは石狩南高校吹奏楽部の方々に昔懐かしの曲を演奏いただき、曲に合わせ口ずさんだり、アンコールの声も聞かれていました。また、花川病院職員 YOSAKOI チーム「健龍嵐舞」による迫力ある演舞、保育所園児・卒園児によるかわいらしいダンスを披露しました。

今年は、最高齢 101 歳の患者さんのお祝いを金色の衣装を着ていただき記念撮影、他の患者さんにもご家族との素敵な写真をプレゼントしたりと病院という非日常的な環境でも笑ったり、美味しいご飯を食べたり、ご家族との団欒を楽しんでいただくことが出来たのではないかと思います。

来年度も皆さんに楽しんでいただける感謝祭を企画していきたいと思いますので、たくさんの方の来院をお待ちしております。

（地域連携相談センター　こぎ）

お薬の正しい使い方

皆さんもお薬を服用する機会は少なからずあるのではないでしょうか？普段なんとなく飲んでいるお薬も正しい使い方を守らないと予期せぬ副作用を招く場合があります。

例えば風邪をひいた時などに、病院や調剤薬局からお薬をもらったとします。その際に、お薬は「薬袋」という袋に入っています。この薬袋には、「患者氏名」、「処方された日数」、「１回に飲む量」、「薬を飲むタイミング」などの重要な情報が記載されています。この薬を飲むタイミングとは、主に食前・食後・食間などを指します。このタイミング以外で薬を服用すると、薬が効かなかったり、副作

用が強く現れたりすることがあるので必ず守りましょう。具体的な服用時間の目安について下の表にまとめました。

食前	食事をする前の約 30 分前に服用
食後	食事をした後の 30 分以内に服用
食間	前の食事から約 2 時間後程度に服用
寝る前	寝る前の 30 分～1 時間前に服用
頓服	症状が現れたときに服用

　また、皆さんはお薬手帳を活用していますか？手帳を持っていない方でも、調剤薬局などで作成を勧められた経験がある方も多いのではないでしょうか。お薬手帳は、自分が使っているお薬の名前・量・日数・使用法だけでなく副作用やアレルギーも記録できる手帳です。お薬手帳には以下のように様々なメリットがあります。

・飲み合わせや薬の重複をチェックし、副作用や薬の相互作用を防ぐ事ができる。
・副作用、アレルギー、過去にかかった病気の情報を伝えることができる。
・旅行中や災害時、急に具合が悪くなったときに薬の情報を正確に伝えることができる。

　東日本大震災や熊本地震の被災地でも、お薬手帳を持っていた被災者は、避難所などでスムーズな診療や投薬が行われた事例が数多く報告されています。お薬手帳は、医療機関にかかる時だけでなく、鞄などに入れていつも携帯することをお勧めします。

　いかがでしたでしょうか。お薬で困った事があれば、お気軽に薬剤師に相談してみて下さいね。

（薬局　はせがわ）

作業療法士による生活動作のご紹介～手のストレッチ方法～

　はじめまして！作業療法士の小島です！今回は脳卒中片麻痺の方に向けたストレッチ方法の紹介です。片麻痺になると手がこわばったり硬くなることが多く、日頃から手のストレッチは大切です。下記のストレッチは花川病院で入院されている患者様にも行っている方法です。片麻痺以外の方でも**猫背予防や肩こり予防などに有効なストレッチ**となっておりますので、参考にしていただけると幸いです。

注意点：痛みの出ない範囲で行いましょう

編集後記

防災の秋、食欲の秋、読書の秋・・・皆さんは秋というと何を思い浮かべますか？令和元年秋、過去に経験のない台風の猛威に被害に遭われた方々におかれましては心よりお見舞い申し上げます。

さて 10 月になってもまだ温かく、雪虫が飛んでいる中、半袖姿で遊ぶ子供たちの光景が夏を惜しむかのように感じさせる今日この頃です。当院は 11 月からの病棟転換に向け院内工事も終了し、リハビリテーションの更なる充実を目指し取り組んで参ります。次号以降で、また様々な取り組み状況等を紹介いたします。

（MSW　かねこ）